

総合図書館 清教リブラリア

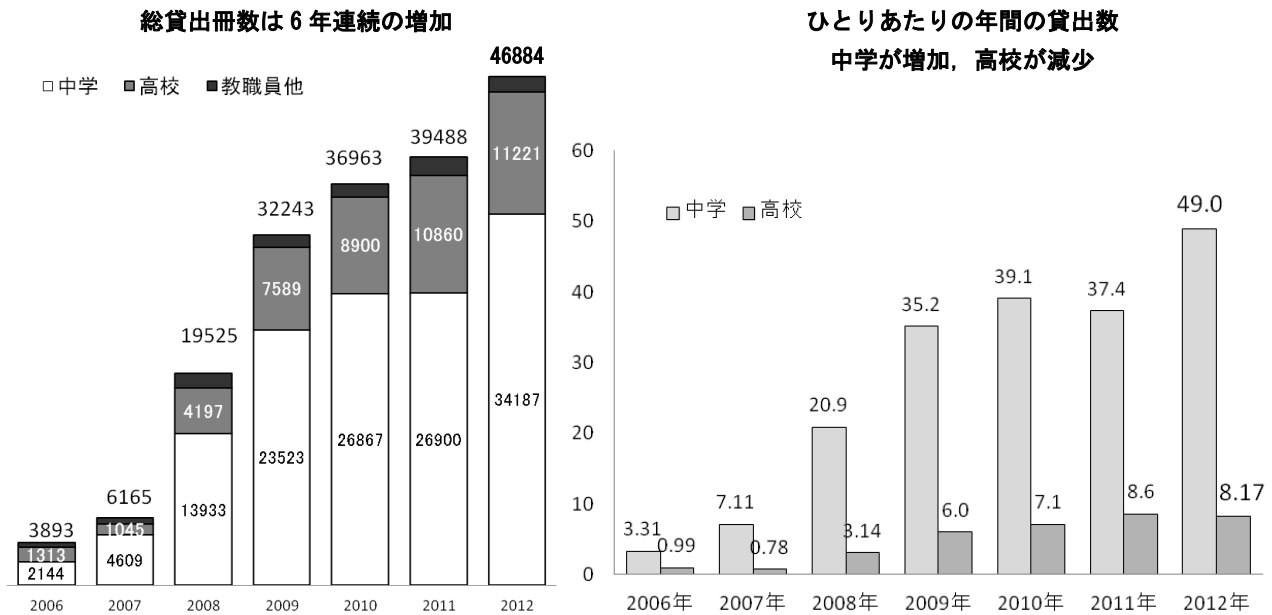
事業報告 2012

- ・貸出冊数が増加, 4万冊を突破
- ・「がんばった学校支援事業」補助金交付
- ・「図書館を使った調べる学習コンクール」受賞
- ・読売新聞「教育ルネサンス」掲載
- ・中学新入生向けの「すくど文庫」はじまる

I トピックス

①貸出冊数が増加，4万冊を突破

貸出冊数が引き続き増加傾向にあります。中学・高校ともに貸出数が伸び、総貸出冊数は46884冊となりました。前年を約7000冊上回り、2007年以來6年連続の増加となりました。中学1年生の「すくど文庫」と、中学2年の「ブックレットづくり」を通じた総合学習の貸出の増加が、主な要因と思われます。高校3年連携コースの卒業論文作成タラントンに関係する貸出も順調でした。ただし、高校の生徒数が増加したわりに全体の貸出総数が伸びず、一人あたりの貸出数は減少しました。



②「がんばった学校支援事業」補助金交付

平成24年度大阪府の「がんばった学校支援事業」において、高校探究科の卒業論文タラントンの試みをもとに、図書館教育の部門に申請し、500万円を限度とした補助の対象となりました。府内の私立学校では唯一500万円の補助対象です。申請した4,894,869円が認められ、今春に総合学習室のコンピュータ更新予算の一部となりました。

③読売新聞「教育ルネサンス」掲載

読売新聞全国版で長く連載されている「教育ルネサンス」（「学べる図書館」シリーズ）で2012年5月9日・10日の2回にわたり、リブラリアカリキュラムが紹介されました。「身近な関心 応える蔵書」「論文作成 自身の探究」という見出しで、それぞれ中学の卒業研究、高校探究科のタラントンが紹介されました。

④「図書館を使った調べる学習コンクール」受賞

「第16回 図書館を使った調べる学習コンクール」(主催:公益財団法人 図書館振興財団)において、高校3年A組の さんの作品『日本の「紋切り」の文化は消えてしまうのか:紙とはさみで出来る紋』が、活字文化推進会議賞受賞を受賞しました。このコンクールへの入賞は清教学園として連続5年8人目です。表彰式は、3月9日(土)に東京五反田の「ゆうぼうと」にて開催されました。



さんが創作した切り紙(4つ折の紋切り)テーマはAlice in wonderland)



授賞式の さん

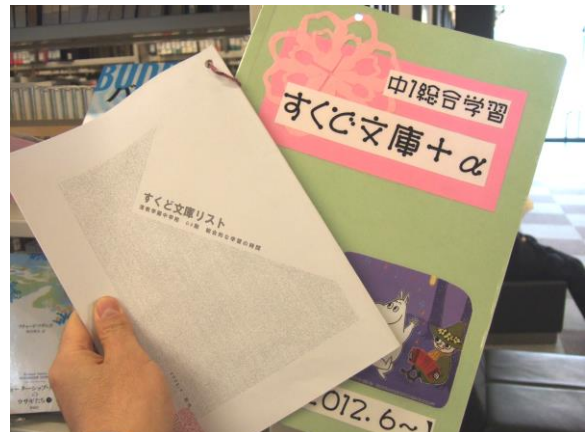
⑤中学新生向けの「すくど文庫」はじまる

中学1年総合学習のための書架「すくど文庫」が4月から本格的に稼働しました。入学して清教学園での読書生活のスタートにふさわしい読み物、約2000冊がそろいました。内容はノンフィクション(0~8類)805冊、フィクション(9類)1140冊、絵本22冊です。

ご存じのように「すくど」は『青春輪舞』の中で清教塾の生徒たちが集めた、焚きつけ用の枯葉(河内地方の方言)です。中学に入学した生徒たちに、文化(読書や知識の世界)に分け入るきっかけとなるようお願いを込めて命名しました。



「すくど文庫」も分類番号順に並んでいます。中学1年以外の生徒も利用できます。



「すくど文庫」の目録。2013年度版も新たに発行予定です。

II 施設概要

名称：総合図書館 清教リブラリア

所在地：〒586-4242 大阪府河内長野市末広町 623

Tel：0721-62-6828（内線 29）HP：<http://www.seikyo.ed.jp/>

理事長：中尾恒夫 学園長：安達英行
中学高校・校長：森創 高校・副校長：増田義一 中学・副校長 森野章二
高校・教頭：内田靖 中学・教頭：菊地渉
図書館教育：片岡則夫（探究科） 山根美智子（司書）藤原文子（国語）
南百合絵（司書教諭）平井祐美子（非常勤司書）

生徒数： 中学校 697 名 高等学校 1373 名 合計 2070 名 職員数 161 名

学級数： 中学校 17 学級 高等学校 34 学級 合計 51 学級

設置： 2002 年 4 月（「総合図書館清教リブラリア」として現在の形で開館）

図書館：

床面積：約 256 m² カウンター 司書室を含む
座席数：20 席 書庫（スタディーホール・ホール上）
業務端末：5 台 生徒検索端末：2 台 無線 LAN

総合学習室：

床面積：約 98.2 m²
座席数：48 席 生徒用 PC：48 台 教師用 PC：1 台 無線 LAN

III 資料

蔵書数： 44118 点（前年度 41145 点：2973 点増）

受入数： 5159 点（前年度 4740 点）

購入図書：4178 冊 購入視聴覚資料：1 点
寄贈図書：499 冊 寄贈視聴覚資料：25 点
遡及作業：161 冊（バーコード貼付による登録資料）
生徒作品：321 冊

除籍数： 2303 点（前年度 1433 点：雑誌も含む）

※ 2F，3F 書庫の蔵書も見直ししました。

蔵書新鮮度：11.6%（前年度 11.5%）

蔵書新鮮度＝その年の蔵書受入冊数÷全蔵書冊数

（この数字が高ければ高いほど頻繁に蔵書を回転させており，書架に新しい本が多いことを示します。）

購入雑誌・新聞

購入雑誌タイトル（図書館 18 誌）

Number	学校図書館	News がわかる	MOE
Newton	ナショナル・ジオグラフィック 日本版	日経サイエンス	アスキーPC
絵巻で楽しむ源氏物語	スクリーン	DAYS JAPAN	週刊東洋経済
日経エンタテイメント	ダ・ヴィンチ	オレンジページ	季刊かつくら
日経トレンディ	鉄道ジャーナル		

購入雑誌タイトル（教師用 20 誌＋中学校各クラス用 1 誌）

高校への数学	コーチング・クリニック	Software Design	健康教室
数学教育	トレーニング・ジャーナル	生徒指導	きょうの健康
大学への数学	イラストレーション	LD & ADHD	Mac People
数学セミナー	家庭科研究	健	Mac Fan
英語教育	百万人の福音	News がわかる（中学校は全クラスに配布）	
体育科教育	信徒の友		

購入新聞

朝日新聞	朝日中学生ウィークリー（毎週日曜日）
Japan Times	Asahi Weekly（毎週金曜日）

2012 年度蔵書統計

1. 購入図書冊数

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	121	95	199	493	569	396	359	663	70	911	302	4178
%	2.9	2.3	4.8	12	14	9.5	8.6	16	1.7	22	7.2	100

2. 購入視聴覚数

1 点

3. 寄贈図書

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	33	28	9	22	50	10	8	38	57	203	41	499

4. 寄贈視聴覚数

25 点

5. 遡及作業

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	0	2	9	3	3	0	0	0	109	35	0	161

6. 生徒作品

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	10	6	16	46	65	60	48	62	2	6	0	321

7. 受入冊数

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	164	131	256	564	687	466	415	763	238	1155	320	5159

総受入冊数

5159

冊

8. 総蔵書数・蔵書構成

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
蔵書	599	2385	3503	4523	4991	2640	2018	4414	1216	10095	658	37318
生徒作品	19	15	54	117	132	113	107	114	11	11	1	694
寄贈	143	256	446	556	467	124	93	427	284	3093	213	6106
合計	761	2656	4003	5196	5590	2877	2218	4955	1511	13199	872	44118
%	1.7	6	9	11.8	12.7	6.5	5	11.2	3.4	29.9	2	100

9. 紛失図書

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
冊数	523※	137	79	148	207
紛失率 (%)		0.41	0.21	0.36	0.47

※これまでの紛失図書の累計値

年間紛失率 = 年間紛失冊数 ÷ 蔵書冊数 × 100

被害総額 180558 円

IV 利用

開館時間 月曜日～金曜日 8:10～18:00 土曜日 8:10～16:30

開館日数 282 日

授業利用時間数 年間約 450 時間

中学総合学習週 17 時間・高校探究科週 6 時間・高 3 音楽選択 1 時間

貸出方法・期間

貸出冊数：20 冊まで／ 貸出期間：14 日以内（長期休暇中は別に定める）

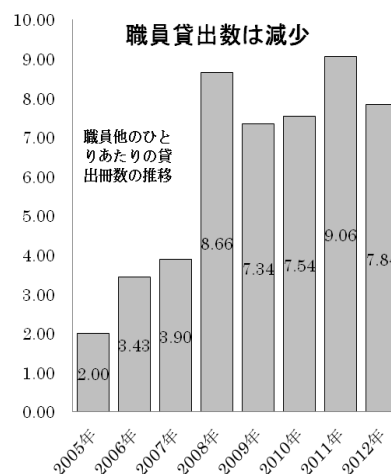
ひとりあたりの貸出冊数（貸出密度）

全生徒 21.9 冊／年（前年度 19.0 冊／年）

中学生 49.0 冊／年（37.4 冊／年）

高校生 8.2 冊／年（8.6 冊／年）

職員 7.84 冊／年（9.1 冊／年）



開館日 1 日あたりの貸出冊数：166.3 冊（前年度 156.1 冊）

蔵書回転率（年間貸出冊数÷全蔵書冊数）：1.06 冊（前年度 0.96 冊）

※蔵書 1 冊あたりの平均貸出冊数を示します。蔵書がどれくら

い貸し出されているかの指標です。今回の数値では図書館全ての本が平均 1.06 回は貸し出されているということになります。

蔵書新鮮度（その年の蔵書受け入れ冊数÷全蔵書冊数）：11.7%（11.5%）

※この数字が高ければ高いほど頻繁に蔵書を回転させており、書架に新しい本が多いということになります。

予約率（予約数÷貸出冊数×100）：2.82%（3.26%）

図書館登校生徒：

中学生 4 名 年間利用日数：のべ約 260 日

※教育相談室に登校する生徒との待ち合わせに利用する保護者もいらっしやった。

留学生 2 名 夏君（中国）：1 学期末まで ローズさん（ドイツ）：2 学期末まで

※空き時間をリブラリアで過ごし、課題したりコンピュータを利用したりして過ごしていました。

年間貸出統計

	中1	中2	中3	中学生 貸出合計	高1	高2	高3	高校生 合計	職員	保護 者	教科 他	総貸 出数	開館 日数	1日平均	予約・ リクエスト
4月	820	2182	1279	4281	116	172	434	722	105	0	30	5138	24	214.1	130
5月	2670	1731	1588	5989	219	216	575	1010	157	3	0	7159	24	298.3	198
6月	1196	2205	1057	4458	210	269	874	1353	124	6	139	6080	26	233.8	153
7月	698	1062	1026	2786	287	213	735	1235	160	10	0	4191	24	174.6	125
8月	247	366	297	910	89	69	372	530	84	0	15	1539	26	59.2	68
9月	946	1119	810	2875	189	182	827	1198	82	2	0	4157	24	173.2	118
10月	1248	665	579	2492	207	362	518	1087	94	0	0	3673	27	136	125
11月	908	383	369	1660	416	497	534	1447	101	0	3	3211	25	128.4	106
12月	718	289	254	1261	289	276	119	684	133	5	0	2083	22	94.7	34
1月	950	2187	172	3309	241	178	87	506	97	0	0	3912	20	195.6	97
2月	731	1857	147	2735	135	331	147	613	45	0	0	3393	18	188.5	84
3月	446	889	96	1431	271	484	81	836	81	0	0	2348	22	106.7	91
集計	11578	14935	7674	34187	2669	3249	5303	11221	1263	26	187	46884	23.5	166.3	1329

分類別貸出冊数の統計

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
貸出 冊数	579	1330	2021	3726	5913	4428	4087	7019	939	16161	681	46884
回転率	0.76	0.50	0.50	0.71	1.06	1.54	1.84	1.42	0.62	1.22		

※ その他は他館からの借受本など。

複写申請数 289件（昨年度215件）

他館借受本 冊1680冊（昨年度約2436冊） 河内長野図書館他

すくど文庫貸出統計

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	絵本	合計
蔵書冊数	26	52	62	129	252	72	46	143	23	1140	22	1967
貸出冊数	35	74	49	161	317	74	56	231	39	2492	46	3574
回転率	1.35	1.42	0.79	1.25	1.26	1.03	1.22	1.62	1.70	2.19	2.09	1.82

V 2012年の記録

行事・展示

4月

- ・図書館ガイダンス（連携コースを除く高校全クラス）：朝の読書の時間に実施。
- ・【展示】入学・進学に際して「花」にちなんだ本を十数冊展示。
- ・【展示】2011年度高3連携コース卒業論文（含各コンクール入賞作品）・中3卒業研究の優秀作品を「総合卒業研究」として展示。多くの中高生やPTA総会の際の保護者にも閲覧していただいた。

6月

- ・【展示】中2作製のブックレットを展示。
- ・リブラリア・クイズ 参加者 約25名
- ・第5回リブラリア杯ブッカー選手権 参加者29名
- ・開架資料を見直し、閉架書庫に保管する資料を選定・移動。

7月

- ・【展示】「本を汚す」のテーマで中1総合学習の成果をクラスごと、週替わりで展示。テキストは石原千秋著『未来形の読書術』（筑摩書房2007年）。線が引かれ、書き込みや付箋などが付けられた本が並んだ。

9月

- ・窓側に置いていた調べもの用のテーブルと椅子をカウンター前に移動。空きスペースに展示用テーブルを設けた。
- ・【展示】絵本紹介コーナーをリブラリア窓際に展示。

10月

- ・【展示】「ハンドメイドしてみませんか？」のテーマで編み物・ハンドクラフトなどの資料を展示。同時にクリスマスに関する本も展示。
- ・リブラリア・クイズ 参加者 約20名

11月

- ・「クリスマスを楽しむ会」に参加できない高1Bのドイツからの留学生 さん（2012年4月から2013年1月在学）他2名がリース作りに挑戦。
- ・窓際にクリスマスデコレーションとイルミネーションを飾り付け。
- ・10日「クリスマスを楽しむ会」川俣先生のアドヴェントに関するメッセージを頂き、クリスマスリースを作製、お茶会を持った。20名参加。
- ・【展示】生徒が作製したリースを展示。

12月

- ・「今読まないでいつ読むんだ？」のテーマで冬休み長期貸し出しのため、お薦めの本を紹介するコーナーを作った。

1月

- ・【展示】「脚がないのと脚がありすぎるの、ぞわぞわするのはどっち？」巳年に合わせて爬虫類や昆虫の資料を展示。
- ・第6回リブラリア杯ブッカー選手権 参加者約15名

2月

- ・本棚を新鮮に保つため、リブラリア廃棄基準により本・雑誌の廃棄を実施。（2226冊）廃棄本をリサイクル本として教職員・生徒に譲渡。
- ・18日～22日 全蔵書点検

3月

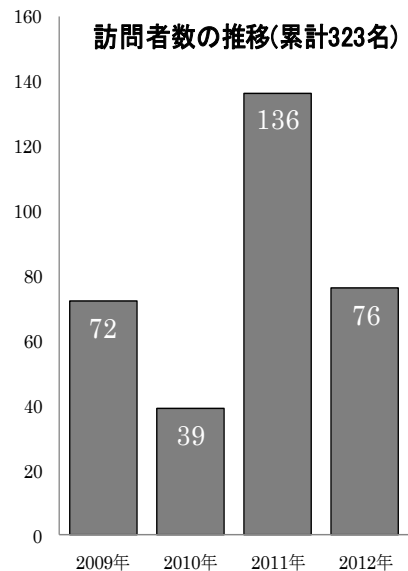
- ・【展示】映画「オズ」上映に際して「オズの魔法使い」などファンタジーに関する本を展示。

年度を通じた活動（通常業務以外）

- ① 図書委員会の活動：「書架整理係」「ポスター作成係」「ブッカー係」「図書だより作成係」の活動。
- ② 留学生の自習スペースとしての利用（コンピュータの貸出等）。
- ③ 「新着図書・雑誌案内のお知らせ」の配布：教職員、各クラス、河内長野市立図書館にも配布・掲示。計 15 回配布。
- ④ 階段横のスペースを利用して原作本のある映画や美術館の案内などを随時展示。
- ⑤ 寄贈本の受入。職員・生徒・関係者からの寄贈本が増加，登録作業継続。
- ⑥ 季節に合わせた、有志生徒の折り紙、切り紙をリブラリア内に展示。
- ⑦ 教室に入りにくい生徒の居場所としての図書館。

訪問者（敬称略・計 76 名）

2012.4.23	（読売新聞東京本社）	（京都産業大学）
2012.5.15	（河内長野市教育委員会）	（河内長野市立図書館）他 4 名
2012.5.22	・	（豊中市教育委員会）
2012.6.15	（農文協近畿支部）	
2012.6.18	（枚方市立第四中学校）	
2012.6.29	・	（国立国会図書館 国際子ども図書館）（立教大 学）国会図書館国際子ども図書館による「中高生向け調べものの部屋の準備調査プロジェクト」調査。
2012.7.12	・	（河内長野市立図書館）
2012.7.13	河内長野市役所職員 2 名。取材のため。	
2012.7.13	雑誌「プレジデントファミリー」2 名。取材のため。	
2012.8.4	（専修大学）	（放送大学制作部）放送大学番組録音のため。
2012.9.11	（大阪芸術大学）他 2 名。司書教諭・司書課程の学生 12 名。計 15 名。	
2012.10.1	（筑波大学・大学院 北陸学院中高等 学校）探究的学習の調査・研究のため。	
2012.10.12	（日本漢字能力検定協会）	
2012.10.16	（JICA 国際協力機構）	
2012.10.22	・	（啓明学院中高等学校）
2012.11.6	・	（堺市立東図書館）
2012.11.12	（広島女学院中高等学校）	
2012.11.19	（奈良育英中高等学校）他 18 名／奈 良県高等学校図書館研究会・優良図書館見学会 より。	
2012.11.20	（和歌山県立耐久高校）他 24 名 和歌 山県高等学校図書館研究会より	
2013.2.19	（大阪読売新聞社会部）高 3A 岩本咲 の取材のため。第 16 回「図書館を使った調べ る学習コンクール」優秀賞入賞。	



雑誌・新聞記事・寄稿等

- ・清教学園リブラリア『生徒の使いたい本はこれ！調べ学習に役立つブックガイド：清教学園リブラリアの本棚から』『セドック』（少年写真新聞社 Web サイト），2012 年 4 月～2013 年 3 月 [12 回の連載] http://sedoc.ne.jp/sample/2011book_use/index.html,
- ・「身近な関心応える蔵書」（教育ルネサンスNo.1606）『読売新聞』（全国版・朝刊）2012 年 5 月 9 日，約 996 万部

- ・「論文作成自身の探究」(教育ルネサンスNo.1607)『読売新聞』(全国版・朝刊) 2012年5月10日, 約996万部
- ・「図書館学習コンクール 高校生2人受賞: 紋切りの歴史探究」『読売新聞』(大阪版・朝刊) 2013年2月23日, 約91万部

外部講師等 (かっこ内は講師名)

- ・2012年8月10日 静岡県総合教育センター司書教諭実践力向上研修「学校図書館と出会う: オリエンテーションから探究へ」会場: 静岡県総合教育センター (片岡)
 - ・2012年8月19日 河内長野市立図書館「みんなで挑戦! プチ図書館長」会場: 河内長野市立図書館 (片岡)
 - ・2013年1月13日 堺市立東図書館ボランティアステップアップ講座「本は人生の羅針盤: 10代の読書を考える」(片岡)
- 2012年8月29日 大阪府熊取町立熊取図書館「探究型学習実践講座: 図書館のニーズを掘り起こす」(片岡・南) 監督

印刷物

- ・2012年4月13日『すくど文庫リスト: 中学64期 総合的な学習の時間』(中学1年用) 335部
- ・2012年9月1日『卒業論文の基礎: タラントン2013』(高校2年探究科用テキスト) 200部
- ・2013年1月1日『卒業研究の手引き: 総合的な学習の時間テキスト2013』(中学2・3年用テキスト) 280部
- ・2012年2月1日『卒業論文のデザイン: タラントン2013』(高校2・3年探究科用テキスト) 200部
- ・2013年3月18日『タラントン2012: 連携コース卒業論文』(探究科卒業論文要旨集) 400部

リブラリアに関係した生徒作品の受賞等

[第16図書館を使った調べる学習賞コンクール] 主催: 図書館振興財団

優秀賞・活字文化推進会議賞 (高校生の部)

さん『日本の「紋切り」の文化は消えてしまうのか: 紙とはさみで出来る紋』(高2A)

優良賞

さん『大野ぶどうはどう存続・発展していくべきか: 地域ブランド化までの道のり』(高3B)

さん『総理大臣はどう「演じる」べきか: ポピュリズムの必要性』(高3A)

さん『指揮者: オーケストラで唯一の棒振り演奏家』(中3F)

奨励賞

さん『時代劇を復興させるためにはどうすればよいのか: 鬼平犯科帳から探る魅力』(高3B)

さん『商品パッケージはどう売りに貢献するのか: Morozoffを例として』(高3B)

佳作

さん『大阪ラーメンをつくるには: 日本人とラーメンの不思議な関係』(高3A)

さん『日本のチョコレート消費量を増やすには: 少子高齢化を生かした販売方法』(高3A)

さん『アニマルセラピーは社会復帰の鍵になりうるのか: 刑務所における動物飼育の持つ可能性』(高3A)

さん『流行するまとめサイト: まとめサイトはマスメディアなのか』(高3A)

さん『塩 salt : 小さな粒に隠された大きな力』(中3D)

さん『理学療法士の魅力 : あなたの知らない理学療法士の世界』(中3E)

さん『南極大陸 : 未知なる白い大陸の知られざる正体』(中3E)

さん『そうじなんてしたくない! : ほうきはギターだ』(中3F)

さん『色 : 人とのかわり』(中3F)

※このコンクールへの入賞は清教学園として連続5年8人目です。今回のコンクールの応募総数は40,229作品点で、高校の部1260点、中学の部10,251点でした。この中から入賞作34点が選ばれました。池上友梨さんは中学生1万点以上の応募作から約1000倍の難関を突破して最終選考まで残り、優良賞を受賞しています。

[NRI 学生小論文コンテスト 2012] 主催 : 野村総合研究所

佳作 : さん『与えることで与えられる : 教会で学んだこと』

本年度のテーマは「自分たちの子ども世代に創り伝えたい社会」でした。高校生の部は1,083名の応募があり、佳作以上の受賞者は28名でした。

大阪 地域 32

2013年(平成25年)2月23日(土曜日) 賞 賞 賞



「大学でもたくさん本を読み、たくさん論文を書きた」と話す山崎さん(兵庫県西宮市の関西学院高等部で)

図書館活用 学習コンクール

高校生2人優秀賞

図書館の資料を活用して論文をまとめる「第16回図書館を使った調べる学習コンクール」(公益財団法人図書館振興財団主催、文部科学省、読売新聞社、活字文化推進会議など後援)の「高校生の部」で、河内長野市に住む清教学園高校3年、岩本咲さん(18)が「優秀賞・活字文化推進会議賞」、兵庫県宝塚市在住の関西学院高等部3年、山崎寛希さん(18)が「優秀賞・読売新聞社賞」に選ばれた。表彰式は3月9日、東京都品川区内のホテルで行われる。



紋切りに手に受賞の喜びを語る岩本さん(河内長野市の清教学園高校で)

山崎さん「美しさとは」考察重ね

山崎さんのテーマは「日本人にとって、美しさとは何なのか」。桜や武士道、日本美術の変遷などについて書かれた約40冊の文献や関西学院大の講義をもとに、A4判約40ページにまとめた。

図書館通いで調べたデカルトやパスカルの哲学、空海や最澄の宗教、坂口安吾や三島由紀夫らの思想をちりばめたが、「文献を抜粋してつないだだけの論文に価値があるとは思えなかった」。

そのため、先人の思想を

「紋切り」の歴史探究 岩本さん

岩本さんの論文タイトルは「日本の『紋切り』の文化は消えてしまうのか」。紙とはさみで出来る紋一(A4判46ページ)。紋切りは家紋をデザインするため生まれた手芸で、庶民の遊びとしても親しまれてきた。

中学2年生の頃、ハロウィン飾りの飾り付けをきっかけに始めた切り絵が、紋切りの流れを受けていると知り、論文のテーマにしようと決めたという。

論文は、学校や国立国会図書館の蔵書にあたり、

山崎さん「美しさとは」考察を重ね、「日本人にとって、美しさとは何なのか」。桜や武士道、日本美術の変遷などについて書かれた約40冊の文献や関西学院大の講義をもとに、A4判約40ページにまとめた。

図書館通いで調べたデカルトやパスカルの哲学、空海や最澄の宗教、坂口安吾や三島由紀夫らの思想をちりばめたが、「文献を抜粋してつないだだけの論文に価値があるとは思えなかった」。

そのため、先人の思想を

岩本さんの論文タイトルは「日本の『紋切り』の文化は消えてしまうのか」。紙とはさみで出来る紋一(A4判46ページ)。紋切りは家紋をデザインするため生まれた手芸で、庶民の遊びとしても親しまれてきた。

中学2年生の頃、ハロウィン飾りの飾り付けをきっかけに始めた切り絵が、紋切りの流れを受けていると知り、論文のテーマにしようと決めたという。

論文は、学校や国立国会図書館の蔵書にあたり、

山崎さん「美しさとは」考察を重ね、「日本人にとって、美しさとは何なのか」。桜や武士道、日本美術の変遷などについて書かれた約40冊の文献や関西学院大の講義をもとに、A4判約40ページにまとめた。

図書館通いで調べたデカルトやパスカルの哲学、空海や最澄の宗教、坂口安吾や三島由紀夫らの思想をちりばめたが、「文献を抜粋してつないだだけの論文に価値があるとは思えなかった」。

そのため、先人の思想を

岩本さんの論文タイトルは「日本の『紋切り』の文化は消えてしまうのか」。紙とはさみで出来る紋一(A4判46ページ)。紋切りは家紋をデザインするため生まれた手芸で、庶民の遊びとしても親しまれてきた。

中学2年生の頃、ハロウィン飾りの飾り付けをきっかけに始めた切り絵が、紋切りの流れを受けていると知り、論文のテーマにしようと決めたという。

論文は、学校や国立国会図書館の蔵書にあたり、

VI 課題

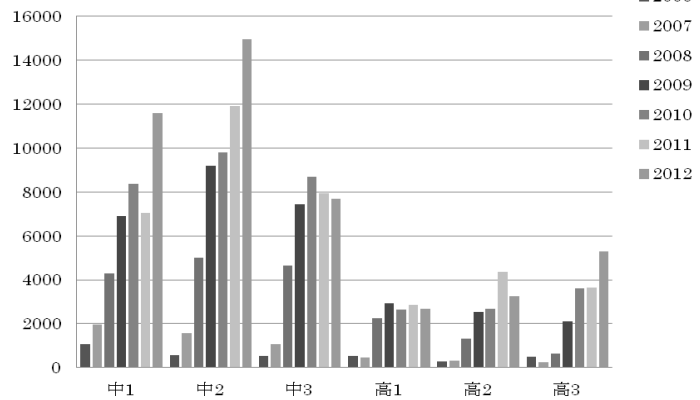
① 高校生の利用率の低さ

中学生の貸出冊数がひとりあたり年平均 49.0 冊に対して、高校生は約 8.17 冊でした。貸出数の総数は伸びていますが依然として高校生の利用率の低さが目立ちます。この傾向はこの 6 年一貫して見られます。

理由の第一は図書館の位置にあります。高校生の生活動線上に図書館がないため、中学で図書館利用を身につけた 6 年コースの生徒も、高校入学後、縁遠くなって

しまいます。特に教室の遠い高校 2 年生にとって来館は難しいようです。第二の理由として授業における利用時間の少なさも高校生の貸出低調の理由と考えられます。

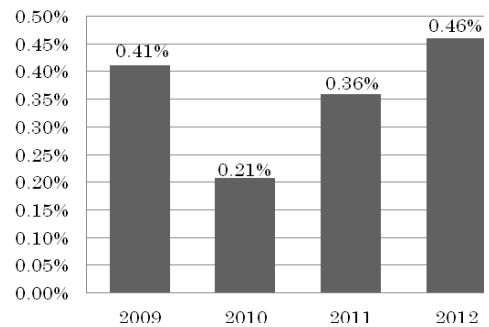
各学年の貸出冊総数の推移



② 紛失図書数の増加

紛失図書の総数が過去最高の 207 冊となりました。蔵書数に対する紛失数の割合、図書紛失率は 0.46% でした。新年度になって所在が確認される図書も少なくないのですが、紛失した理由としては貸出手続きをしないまま持ち出したものが多数を占めると考えられます。公共図書館の紛失率(約 1.33%) に比べて低いものの¹、増加傾向にあるのは間違いなく、マナー向上と無断持ち出しへの対策、あるいは I C タグによる蔵書管理の可能性を考える必要があります。

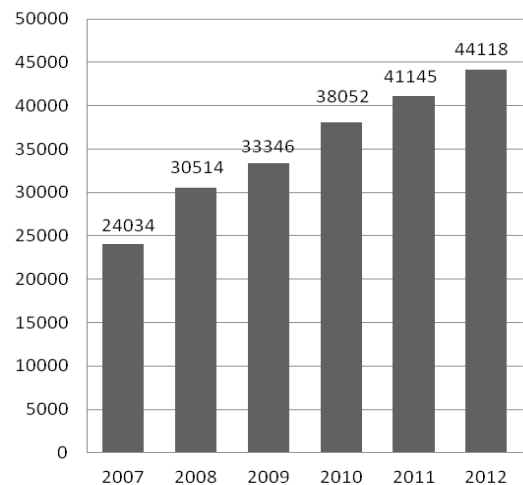
紛失率の推移



③ スペースの限界

リブラリアの書架の容量は、積極的な除籍と書架の配置の工夫により増加したものの、限界に近づきつつあります。本年度は 2303 冊の廃棄をしましたが、約 3000 冊の増加となりました。1~2 年後には飽和状態に至ると予想されます。

蔵書数の推移



¹ 歳森ほか「公共図書館におけるブックディクテーションシステムの設置効果」『日本図書館情報学会誌』Vol.46, No.1, March2000, p.33 比較できる学校図書館の紛失率の調査は見つかりませんでした。

[裏表紙]

L I B R A R I A

SEIKYO